



## きぼうの会

## 【本人の声】

- ・ 認知症と言われたらへこむから言わないで。
- ・ 何でデイサービスに行かないといけないの。行っても楽しくない。行きたくない。
- ・ いろいろ忘れちゃって困っちゃう。
- ・ (自身の若い頃の話をしてから) 昔の話を思い出させてくれてありがとう。
- ・ 妻一人に子育てをさせてきた。今は夫婦2人暮らし。妻孝行しないと。

## 【家族の声】

- ・ 妻が診断を受けた時は、認知症になって恥ずかしいと思った。だからデイサービスは家から遠い場所を選んだ。今は、近所の人に妻が認知症だと知ってもらえた方が、助けてくれる人が増えると思っている。
- ・ 診断を受けると同時に医師に介護保険の申請をするよう言われた。訳も分からず手続きをし、担当の人からずっと「認知症」と言われショックだった。
- ・ 言っではいけないと分かっているが、イライラしたり疲れていると、つい「なんでできないの」と言ってしまう。本人が、自分ができなくなってきたことを一番感じていると思う。
- ・ 「妻は物をしまうのが得意なんです。」 「うちのも得意ですよ。」  
～物を隠されて困るとは言わず、日々のエピソードを笑い合いながら～
- ・ 今まで妻にいろいろ良くしてもらった。今度は自分がしてあげる番だと思っている。こう思えるまでには随分時間はかかった。



### 【本人の声】

- ①専門職に相談したら、介護保険と障がいサービスを説明された。私は自分の気持ちを聞いてほしいだけだった。
- ②認知症と診断されてたくさんの専門職の人と出会ったが、私が信頼できた専門職は一人だけだった。初対面で色々聞かれたり、困ることはあるかと聞かれるが、信頼関係のできていない人に話すと思いますか？
- ③診断されてからずっと死にたいと思っていた。将来が不安で毎日泣いて生活している。同じ病気の人がいたら話ができるのに・・・。
- ④今から自分がどうなってしまうのか、これからどうしたら良いのか聞きたかったのに、相談窓口で介護保険の制度を説明された。
- ⑤専門職は、なぜできないことをさせようとするのだろう。頑張っって名前を書いてみて！と言うが、書けないなら印鑑を作れば良い。
- ⑥診断されてからとても落ち込んだが、スタッフに助けてもらいながらできることを続けていこうと思っている。支援者という言葉を知ると、自分はやっぱり支援される人なんだと思ってとても辛い気持ちになる。
- ⑦認知症だと言うと、周りの専門職が色々聞いてきて、興味本位で聞いていると感じてしまう。本当に自分のことを理解しようとしている人かどうかは話しているとわかる。
- ⑧認知症になり、会社の部署を異動した。情けなく、お金の不安も大きい。相談窓口で障害年金を説明された。自分に障害者になれと言われていたと思った。
- ⑨45歳で発症して16年になる。昔は自分のことを喋れる人は認知症ではない！と言われて周囲に理解者がいなかった。認知症であることを隠しなさいと言われて続けてきた。今は認知症であることをみなさんに伝えることが仕事になり、私にしかできない仕事だと思っている。
- ⑩認知症と診断されてから誰にも会いたくなくなった。相談窓口で相談したら、地域のサロンや集まりを紹介された。こんな情けない思いをするくらいなら検査なんかしなければ良かった。
- ⑪認知症と言われとても不安だった。地域で役割りをもらっているが、最初は自分が役員をすると迷惑をかけると断った。今はみんなに助けてもらいながら楽しく活動させてもらっている。
- ⑫認知症になったんなら仕方がない。毎日好きな趣味をして楽しく過ごせればいいかなと思っている。介護保険はまだ必要ない。できるところまで頑張りたい！

